

枚方市障害福祉サービス事業者連絡会

2020年度総会（書面決議）

議案

1. 2019年度事業報告（案）
2. 2019年度決算報告（案）
3. 役員改選（案）
4. 2020年度事業計画（案）
5. 2020年度予算（案）

2019年度 事業報告（案）

4月	4月22日 14:30～16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室2 参加 役員10名 障害福祉室1名	<ol style="list-style-type: none"> 1 2018年度第5回連絡会のまとめ 2 第1回連絡会（総会・記念講演）について 3 枚方市からの連絡（人事異動について） 4 役員からの連絡その他（「旧優生保護法一時金支給法」他）
5月	5月20日 14:30～16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員11名 障害福祉室2名	<ol style="list-style-type: none"> 1 第1回連絡会（総会・記念講演）について 2 研修の担当割り振り 3 枚方市からの連絡 4 役員からの連絡その他
	5月27日 18:00～20:00	第1回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会（総会・記念講演）
	メセナひらかた会館 大会議室 参加 58事業者80名 （新会員 16事業者18名） （委任状 29）	<p>【総会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2018年度事業報告案および決算報告案 2 役員紹介 3 2019年度事業計画案および予算案 4 枚方市からの連絡事項（ケースワーカー地区割表について） <p>【記念講演】 演題：障害福祉制度の介護保険統合？—今、私たちはどうすべきか 講師：茨木 尚子 氏（明治学院大学教授）</p>
6月	6月24日 14:30～16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室2 参加 役員6名 障害福祉室2名	<ol style="list-style-type: none"> 1 第1回連絡会（総会・記念講演）のまとめ 2 第2回連絡会について 3 応諾義務（サービス提供拒否の禁止）について 4 枚方市からの連絡（実績記録票等の提出専用ポストの設置） 5 役員からの連絡その他（茨木市の障害者施設での暴行死他）
7月	7月22日 14:30～16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員9名 障害福祉室1名	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2回連絡会について 2 第3回連絡会について 3 枚方市からの連絡（枚方市ガイドヘルパー養成研修他） 4 役員からの連絡その他（重度障害者の国会議員の誕生他）
8月	8月5日 18:30～20:30	第2回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
	メセナひらかた会館 大会議室 参加 35事業者60名 （新会員 8事業者13名）	<ol style="list-style-type: none"> 1 全体研修 <p>講演①：障害者の就労を取り巻く現状について 講師：細井 清和 氏 （障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 事務局）</p> <p>講演②：就労移行支援の事例と課題 講師：田中 幸二郎 氏（LITALICO ワークス枚方 センター長）</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 枚方市からの連絡事項 ・実績記録票の提出不要通知と専用ポスト設置について
	8月26日 14:30～16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員10名 障害福祉室1名	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2回連絡会のまとめ 2 第3回連絡会について 3 第4回連絡会について 4 福祉指導監査課との話し合い報告 5 枚方市からの連絡 6 役員からの連絡その他（重度訪問介護の通勤・通学・就労利用他）

9月	9月20日 14:00~16:30 18:30~20:05	第3回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
	ラポールひらかた 大研修室 参加 43事業者96名 一般31名 計127名 (新会員 12事業者14名)	1 全体研修 (ほっこりひらかた2019) 映画上映:『道草(みちくさ)~この街で暮らす』 講演:知的障害者が街で暮らすこと~倉内さんの支援をめぐって 講師:倉内啓介さん・津田茂樹さん(であい共生舎) 2 枚方市からの連絡事項 ・旧優生保護法による優生手術などを受けた方へ
	9月30日 14:30~16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員10名 障害福祉室1名	1 第3回連絡会のまとめ 2 第4回連絡会について 3 枚方市からの連絡 4 役員からの連絡その他(障害児者の通勤・通学問題他)
10月	10月28日 14:30~16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員8名 障害福祉室2名	1 第4回連絡会について 2 第5回連絡会について 3 利用者と事業者の契約等に関する事例検討について 4 枚方市からの連絡(重度障害者入院時コミュニケーション支援事業) 5 役員からの連絡その他(障害者への虐待他)
11月	11月8日 14:00~16:30	第4回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
	メセナひらかた会館 大会議室 参加 40事業者61名 (新会員 7事業者8名)	1 全体研修 講演:高次脳機能障害の理解と支援に関して 講師:佐野 恭子 氏 (兵庫医療大学リハビリテーション学部作業療法学科准教授) 2 枚方市からの連絡事項 ・枚方市重度障害者入院時コミュニケーション支援事業について
	11月25日 14:30~16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員6名 障害福祉室2名	1 第4回連絡会のまとめ 2 第5回連絡会について 3 利用者と事業者の契約等に関する事例検討について 4 枚方市からの連絡(移動支援・通学支援の委託更新) 5 役員からの連絡その他(2020年バリアフリー法改正他)
12月	12月23日 14:30~16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員8名 障害福祉室2名	1 第5回連絡会について 2 第6回連絡会について 3 枚方市からの連絡 4 役員からの連絡その他(医療的ケア児の支援について他)
1月	1月23日 14:30~16:30	第5回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
	メセナひらかた会館 大会議室 参加 50事業者75名 (新会員 9事業者10名)	1 全体研修 講演:精神障害者の地域生活を支える薬物療法の役割と課題 講師:池田 俊一郎 氏(関西医科大学 精神神経科学講座 講師・医師) 2 利用者と事業者の契約等に関する事例検討報告 3 枚方市からの連絡事項 ・枚方市ガイドヘルパー養成研修
	1月27日 14:30~16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員8名 障害福祉室2名	1 第5回連絡会のまとめ 2 第6回連絡会について 3 新年度の総会・記念講演について 4 枚方市からの連絡(移動支援・通学支援について) 5 役員からの連絡その他(相模原障害者施設殺傷事件の裁判他)

2月	2月17日 14:30~16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員8名 障害福祉室2名	1 第6回連絡会について 2 新年度の総会・記念講演について 3 移動支援・通学支援事業に係る契約等説明会、枚方市自立支援協議会 4 枚方市からの連絡 5 役員からの連絡その他（ヘルパーの人材不足問題他）
3月	3月23日 14:30~16:00	役員会
	ラポールひらかた 特別会議室1 参加 役員9名 障害福祉室2名	1 新型コロナウイルス感染症の影響について 2 新年度の総会・記念講演について 3 枚方市からの連絡（枚方市の機構改革について） 4 役員からの連絡等（精神科病院での患者虐待について他）
	3月26日 14:00~16:30	第6回 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会（開催延期）
	メセナひらかた会館 大会議室 新型コロナウイルス感染防止対策で 開催延期	1 全体研修 講演：障害者が地域で生きるとはー施設・病院からの地域移行の課題 講師：渡邊 琢氏（日本自立生活センター（JCIL）事務局員、ヘルパー） 2 枚方市からの連絡事項

● 2019年度末の会員事業者数：95

● 審議会等への参加

- ・ 枚方市社会福祉審議会（本審）
- ・ 枚方市社会福祉審議会 障害福祉専門分科会
- ・ 枚方市社会福祉審議会 民生委員審査専門分科会
- ・ 枚方市自立支援協議会
- ・ 枚方市障害支援区分認定審査会
- ・ 枚方市バリアフリー推進協議会
- ・ 枚方市障害者虐待防止関係機関会議
- ・ 枚方市医療的ケア児等支援連絡会議
- ・ 枚方市歯科口腔保健推進連絡会

2019年度枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 決算書

(単位：円)

科目	収入	支出	内容
前期繰越	89,799		
年会費	95,000		95事業者×1000円
参加費(資料代含む)	59,400		198人×300円
講演会講師料		125,000	講師謝礼(年4回)交通費含む
資料印刷代		32,200	
繰越金		86,999	
合計	244,199	244,199	

2020年6月22日

上記の通り報告致します。

会長 安田 雄太郎

会計 内田 智久

上記の決算書、帳簿を適正に監査した結果、いずれも適正であったことを報告致します。

会計監査 大橋 友子

2020年度 枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 役員（案）

役 職	氏 名	法人名 事業所名
会 長	安田 雄太郎	株式会社あんゆう あんゆうケア
副会長	長尾 祥司	特定非営利活動法人パーソナルサポートひらかた パーソナルサポートひらかた
会 計	秦 紀代美	社会福祉法人聖徳園 ひらかた聖徳園ホームヘルパーステーション
監 査	大橋 友子	社会福祉法人であい共生舎 地域生活支援センターにじ
幹 事	河野 和永	特定非営利活動法人陽だまりの会 相談支援センター陽だまり
幹 事	津田 茂樹	社会福祉法人であい共生舎 ワークショップ虹
幹 事	上田 光男	合同会社かなえ かなえケアサービス
幹 事	川上 雅英	社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 枚方市社会福祉協議会在宅福祉課
幹 事	山田 隼人	株式会社LITALICO LITALICOワークス枚方
幹 事	谷川 進一	株式会社ロイヤル住建 ロイヤルスクエア牧野

2020年度 事業計画（案）

【障害者を取り巻く現状と連絡会の役割】

昨年7月、常時介護を必要とする重度障害者の国会議員が誕生したことを受け、遅れていた国会のバリアフリー化が本格的に動き出すと同時に、通勤・勤務・通学に、重度訪問介護や同行援護などの福祉サービスが利用できない現状の是非が、連日マスコミで取り上げられ、長年にわたる障害者の就労・就学における介護保障の課題が、国民的議論として注目され始めました。

枚方市の通学支援事業は、その合理的な制度設計などが大阪府や障害者団体からも注目され、全国的にも影響を与えうるモデルとなっています。この通学支援事業を生み出した背景には、「障害の有無に関わらず、すべての子供が共に学び、共に育つ保育・教育の推進」という枚方市の理念と実践があります。

通学支援事業における人材不足の課題にも向き合いながら、就労・就学における介護保障の課題について、引き続き国や大阪府の動きを注視し、「枚方モデル」を実践・発信していく役割が課されています。

昨年11月の全体会でも周知しましたが、「枚方市重度障害者入院時コミュニケーション支援事業」の対象が拡大されました。国の制度では、障害支援区分6の重度訪問介護サービス利用者に対象が限定されていますが、区分6以外の利用者や、居宅介護、移動支援などの利用者の一部も、入院時にヘルパーの支援が受けられることになりました。枚方市独自の制度であり、他の市町村からも注目されていくと思います。

私たち事業者が新しい制度を学び、支援を必要としている方に情報提供していくことが必要です。

昨年度、「枚方市医療的ケア児等支援連絡会議」が設置され、当連絡会も会議の構成機関として参加しました。枚方市において、人工呼吸器を装着している障害児や、その他の日常生活を営むため医療依存度の高い状態にある障害児等と、その家族を地域で支えられるようにするため、医療・保健・教育・保育・福祉を担当する各機関が、地域の課題や対策について意見交換や情報共有を図り、効果的に施策の推進を図るために設置された会議です。

特別支援学校、そして、地域の学校にも、近隣の市町村と比べても、医療的ケアを必要とする枚方市の障害児は多く、支援体制の強化が必要です。さらには、コロナ禍において人工呼吸器治療の優先順位による命の選別が危惧される現状のなか、医療的ケア児の生活を支える体制の構築は、日本社会における医療・介護の水準のみならず、それらの土台にある社会の有り様を示す指標ともなり、誰も排除されないインクルーシブな社会の実現にとっても、重要な実践です。

当連絡会も参加している「枚方市社会福祉審議会 障害福祉専門分科会」では、枚方市障害福祉計画（第6期）・枚方市障害児福祉計画（第2期）及び枚方市障害者計画（第4次）（注）の今年度中の策定にむけた協議が始まっています。

枚方市は障害者施策に係る基本理念に「障害のある人が、障害のない人と同じように、地域のなかで自立して生活できるようにします。」「障害のある人が、市民社会の一員として、あらゆる社会生活に参加し、いきいきと活動できるようにします。」の2つを掲げており、国の理念としても、施設・病院からの地域移行の重要性が示されています。

しかし、地域移行に関する国の障害福祉計画等の数値目標は低下してきています。枚方市においても

地域移行の課題は多く、良好な進捗とは言えない状況です。一方で、全国的にも、グループホームの大規模化や「サービス付き障害者向け住宅」等への入居促進など、「地域の施設化」の課題も指摘されています。

理念を実現していく力は、現場の創意工夫であり、継続した取り組みです。「地域のなかで自立して生活する」という意味を再確認しながら、地域移行をねばり強く進めていくことが必要です。

また、今年5月には、公立小中学校のバリアフリー整備義務化などを盛り込んだ改正バリアフリー法が成立しました。エレベーターが未だ設置されていない枚方市市民会館や災害時の避難所にもなる学校のバリアフリー化などを実現していくことが求められています。

コロナ禍の今年3月、相模原障害者施設殺傷事件の裁判で死刑判決があり、被告の控訴取り下げにより、死刑が確定しました。「責任能力に争点が絞られ、事件の原因や背景が明らかにされていない」という声も強いなか、神奈川県検証委員会による調査により、「津久井やまゆり園」において「長期にわたる虐待の疑い」が指摘されています。また、昨年3月の茨木市の障害者支援施設における職員の利用者に対する暴行死、今年3月の神戸市の精神科病院における職員による患者虐待・逮捕など、虐待事件は後を絶ちません。

一方、旧優生保護法のもとで行われた強制不妊手術について、仙台地裁や東京地裁の判決では、違憲性が一部認められたものの、損害賠償の求めは退けられ、被害者や関係者から厳しい批判を受けています。

社会の障害者に対する偏見や差別の構造は、依然として根深く深刻な問題であると言わざるを得ず、日常的に多くの時間、当事者に関わる私たちは、こうした問題と意識的に向き合うことが求められていると思います。

措置制度から契約制度に移行して17年。昨年12月の全体会における「利用者と事業者の契約等に関する事例検討報告」にもあるように、事業者による無責任な利用契約解除をはじめとする「障害者の人格の尊重」を軽視した行為が、多種多様な事業者の参入や在宅介護の人材不足をも背景として散見されます。

「利用者が事業者（支援者）を選べる制度」を掲げてスタートした契約制度ですが、民間事業者である私たちは、採算性や効率性を無視できず、行政の権限でヘルパーなどの人材を派遣できるわけでもなく、事業者の裁量に委ねられるという点において、社会保障の権利性は後退したとも言われます。

人材不足の時代だからこそ、「押し付け合い」ではなく、事業者どうしや行政が協力していくことが大切だと思います。

新型コロナウイルスの脅威は社会全体に及び、私たちも例外なく巻き込まれています。サービスの利用控えや職員の休職、販売減による工賃の減額など、事業運営の根幹を揺るがす影響は、今後も長引くことが予想されます。

また、「3つの密」などを回避するための「新しい生活様式」においては、人々が「集まり、近づき、語り合い、支え合う」という福祉、支援の前提が否定されかねず、多様性への排他的な感情や行動の助長も社会問題化し、共生社会の実現にとって、大きな逆風となっています。

私たちは、介護等の様々な支援を必要とする障害のある市民を、最も身近なところで支えてきました。バリアフリーな福祉のまちづくり、障害のある人への対応に限らない一人一人のニーズに配慮が行き届く社会へのツールである「合理的配慮」の提供など、「人々が支え合う実践」を積み重ねてきました。コ

コロナ禍とその後の社会の変化において、私たちの経験は、重要な役割を担うことができると考えます。

新型コロナウイルスの感染状況や会場の定員を勘案しながら、研修会の開催を追求していくと同時に、枚方市社会福祉審議会や枚方市自立支援協議会など、各種会議への参加を継続していきたいと思えます。また、新たに通信を発行する営みをとおして、行政との連携や事業者への情報提供、事業者間の交流や意見交換を行うなど、創意工夫しながら、「行政と事業者が連携し、サービスの質の確保と向上を図り、障害者（児）等の生活向上に資する」という連絡会の目的を遂行していきたいと思えます。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2020年7月10日
枚方市障害福祉サービス事業者連絡会
会長 安田 雄太郎

（注）枚方市障害福祉計画（第6期）は、障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービスの提供体制の確保と、同法に基づく業務の円滑な実施に関する計画を策定することにより、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保にかかる目標に関する事項や、各年度における指定障害福祉サービス等の必要な量の見込み及びその見込量の確保のための方策、整備の方向について策定され、また、枚方市障害児福祉計画（第2期）は、児童福祉法に基づき、障害児へのサービス提供の計画的な構築を行うことを目的として策定されるものです。

また、枚方市障害者計画（第4次）については、障害者基本法に基づく「市町村障害者計画」との位置付けで、障害福祉サービスの分野はもとより、教育、まちづくり、就労、社会参加、余暇活動といった分野も包含した、枚方市の障害者施策に関わる総合的な計画として策定されるものです。

【事業計画】

◆役員会

- ・毎月第4月曜日に役員会を開催し、連絡会の運営等に関する審議を行います。

◆全体会

- ・新型コロナウイルスの感染状況や会場の定員を勘案し、9月以降の開催を目指します。
- ・枚方市からの連絡等を随時行います。
- ・研修は、担当役員を決めて、障害別（身体・知的・精神）の課題、障害福祉施策の動向、障害者の人権等に関して行います。また、必要に応じてサービス提供の問題点等の事例検討を行います。内容に関するご要望があれば、役員または事務局にお伝えください。

◆通信の発行

- ・今年度は3回を目標に発行します。
- ・内容は、「講師との対談」「枚方市からの情報提供」「制度情報」「障害当事者の紹介」などを予定しています。内容に関するご要望があれば、役員または事務局にお伝えください。

◆各種審議会等への参加

2020年度枚方市障害福祉サービス事業者連絡会 予算書（案）

2020年6月22日

（単位：円）

科 目	収 入	支 出	内 容
前 期 繰 越	86,999		
年 会 費	100,000		100 事業者×1,000 円
参加費(資料代含む)	45,000		150 人×300 円=45,000
講演会講師料		75,000	講師謝礼（講演会 3 回）
資料印刷代		20,000	
通信発行費		60,000	
予 備 費		76,999	
合 計	231,999	231,999	